



調布市議会議員、大河みとこの議員活動レポートです。市民と市政の架け橋となるべく奮闘中です。是非お読み下さい。

元気派市民 大河みとこの市議会レポート

NO.38

2002年 秋号

元気派市民とみとこの会

〒182-0011

調布市深大寺北町1-31-1

Tel&Fax 0424-88-4137

http://www.ops.dti.ne.jp/genkiha/

みみチャンネル

主なニュース

- 元気派市民の会代表質問 長友新市長のまちづくりに対する基本理念を問う・・・P 2-3
- 自治最前線を訪ねて 男女共同参画(香川) / 夢が育つ学校(福島) / エバ-カデザイ(熊本)・・・P 4
- 教育について語ろう第6弾! シリーズPTA / 新ニューフォー情報 / CAPおとな学習会報告・・・P 5
- みとこの議会レポート 一般会計決算の認定 / 緊急質問 / 文教委員会報告・・・P 6-7
- 元気派ひろば 豊島の産廃の不法投棄の現場を訪ねて / 深大寺北町界隈から・・・P 8



市民と市政の架け橋となるべく、今日もまた、背筋を伸ばして臨みます。

「市民自治」を目指して

新市長は「公約」に掲げたまちづくりの

具体的な説明を

新市長による新市政がスタートし、九月議会では「公約」とは何が深く考えさせられました。今議会では、市長のまちづくりに対する基本理念、ビジョン、市政運営の在り方や進め方が今までとどう違ってくるのかを代表質問で問いましたが、明確な答えは得られませんでした。新市長は新規事業に意欲的である一方で、前市長が計画した事業の継続も明言しています。公約にあった借金の早期返済や、無駄、無理な「箱物行政」の見直しとは、何だったのでしょうか。同じく公約の女性助役も議会に提案されず、十月の百名を超える大幅な人事異動でも、部課長職への女性職員の登用は一人もありませんでした(所

信表明では女性の要職に就く割合を高めると明言)。結局、公約にあった「開発優先から市民の暮らしを大切にすまちづくり」の真意が見えないままに議会は閉会しました。

開かれた議会、信頼できる議会を目指して

議会初日、開会が大幅に遅れ、大勢の傍聴者に怒りと混乱を招きました。これは市長への緊急質問が出された為です(詳しくは六・七ページの議会レポートをご覧ください)。議事日程変更の際、議会は審議を中断し、協議・決定しますので時間がかかります。市民にわかりにくい議会運営は、議会不信につながるもので、これからの課題だと受け止めています。

現在、議会では、議員定数削減の是非を幹事会で審議調整しています。調布市議会の議員数は現在三十名で、議員一人は約六千七百人の市民を代表し、これは、現状でも多摩二十六市で四番目に多い人数です。また、低投票率の調布市では、議員定数の削減により、組織票を持った団体は議員を出しやすく、組織を持たない無所属、無党派市民は代表を議会に送り出しにくくなります。多様な市民の意志、意見が議会に反映されにくくなるのです。このような重大な問題を市民に問うことなく、行革の一環として議員だけで決定していいのか疑問です。私は開かれた議会への一層の努力をしたいと考えています。皆様からの忌憚のないご意見をお待ちしています。

調布市議会議員 大河みとこ

すぐ近くにある神代植物園のバラ園がライトアップされコンサートもあり公開されたが見損ねる。バラ好きな人間なのに残念。友人に貰ったカレンダーの十月はバラの写真。これ
で我慢です。(みとこ)



元気派市民の会の 代表質問(要旨)



自治を創り上げていくのは私たち自身。「市民自治」実現に向けての市長の基本的な考え方を問う!

市長は、まちづくりは議決事項の基本構想の考え方に沿って進めると表明しかし、最も重要であるはずの市長自身の理念について、明確な説明がありませんでした。

市政運営に変革を求めた市民の気持ち、私たち議員も含め行政運営に携わる者一人ひとりが、真摯な姿勢で、把握しながら今後のまちづくりに反映する努力が必要と私は受け止めています。

今後、「市民参加」や「情報公開」の進め方がどう変化するか、市民への具体的な説明責任が求められています。

元気派市民の会は今までと同様に、「自分たちのまちは自分たちでつくっていく」という主体的な意思を持った市民本位のまちづくりを目指し、市民の視点からの提案と質問をしました。

1・暮らしやすさナンバーワンの調布を目指すために・新しい市政への市民の期待は何か

市長は市民参加型市政を強調しているが、各地区で開催されていた「ゆめあいミーティング」の経験から、「ふれあいトーキング」の事前申し込み制、会場はたづくり、テーマ限定には違和感を覚える。「自ら足を運んで市民の中に入って行く」という市長の政治スタンスを、市民は直接的具体的な経験を通し理解していくはず。

市民が新市政に期待するものは何だと考えているか。

市民参加型市政の基本にある「市民参加」の考え方を問う。これからの市民参加の在り方に従来とは違ったどのような視点が入るのか。

市民参加型市政推進の具体的な進め方、手法は何か。現在進行中の市民参加プログラムの今後の進め方を問う。参加を保证する市民参加条例やその先に市民自治基本条例があると認識しているが、どうか。情報公開と個人情報保護は、一対。今後個人情報保護は、行政の大きな課題。市民の人權に係わる住基

ネットは問題山積であり、行政責任は重い。今後どのように捉えていくか市長の説明責任を求めめる。

【市長答弁】市民は普通の市民感覚を求め、新しい目での市政運営の再点検を期待していると受け止め、市民の声を収集手段充実に努める。全庁的な市民参加手法を定め、施策決定過程をいつでも市民が知ることができ、反映できない理由も明らかにしたい。情報開示は、市民からの請求がなくても、積極的に行政自らが行う。住基ネットに不安を抱いている市民がいることは承知。本市には個人情報保護条例が制定されており、適切な措置を講じる。

2・調布の行財政改革を市民の視点からどのように検証するか、提案も含め問う

効率的な市政運営を進める上で、市民へのいいない説明が不可欠。市の行財政最大の課題は何だと認識するか。

市政運営で市長の最も重要な仕事は、新たな事業の決定であり、廃止する事業を市の責任者として最終決定す

ることにもある。市長は今までの計画事業も実行し、さらに新規事業を行うと約束しているが、そのための財源と実現する時期を明確にすべき。試行錯誤の段階でも広報し、わかりやすい情報公開を心がけるべき。

事業の妥当性や存続の可否で大事なことは市民の声の反映と事業の妥当性、判断の基本的材料の確保。市長が導入を考えている企業会計には「企業会計原則」があるが、「公会計原則」と呼ばれるものはなく各市は目下手探り中。企業会計的手法の何を取り入れ、どんな効果を期待するのか、その明確なビジョンが不可欠。外部評価という観点からは、経営の仕組みを市民の視点から評価する取り組みを検討すべき。

【市長答弁】行財政改革は、不断の改革の断行が求められている。行政評価への市民参加、情報公開は重要。財政環境も早期改善は期待できず、京王線立交など、課題は山積。「行財政アクションプラン」に掲げた財政指標の維持、改善に取組む必要がある。企業会計的手法で分析・把握、今

みとこの活動日誌



- 7月 3 NPO調布まちづくりの会定例会
- 9 高齢者福祉総合計画みなおし部会
- 10 幹事長会
- 11 宝塚教育センター視察
- 12 全国男女共同参画宣言都市サミット(宝塚市)
- 13 市川記念会政治参画セミナー
- 13-14 地方議員行財政自主研究会・介護保険
- 18 臨時議会・市民参加プログラム
- 20 公会計部会
- 23 ごみ懇談会傍聴
- 25 幹事長会・施設部会傍聴
- 29 都市農政推進協議会総会
- 31 サウジアラビアサッカーチームキャンプ地解散会
- 8月 2 市議会臨時会
- 3 北ノ台小盆踊り大会
- 6 高齢者福祉総合計画傍聴
- 6-7 市川房枝記念会選挙セミナー
- 7 元気派ミーティング(議会報告会)
- 8-9 日本福祉のまちづくり学会全国大会(熊本市)ユニバーサルデザインワークショップ参加
- 10 久留米市男女平等推進センター視察
- 20 都市整備連絡調整協議会(国領南北他)
- 23-24 自治体学会全国大会(郡山市)三春町視察
- 25 元気派CAP学習会
- 26 文教委員会・日本税制改革協議会学習会(議員会館)
- 27 国領駅周辺地区まちづくり懇談会参加
- 28 調和小開校式・幹事長会(議員定数について)
- 9月 1 防災訓練(神代中)
- 2 幹事長会
- 6 議会運営委員会
- 7 武蔵境通り環境施設帯整備検討協議会
- 8 市民体育祭開会式
- 10 高齢者福祉総合計画傍聴
- 10-27 9月議会開会
- 15 敬老会
- 17 市民参加プログラム
- 26 婦人会館サークル展
- 28 国際公会計学会部会



国領駅北地区再開発に対する基本的な考え方は何か。迅速な情報公開を求める。緊急課題であるごみ

3. 市民が期待するまちづくりの重点施策の提案

後の財政運営等に活用。財政情報は積極的に公開。ホームページでの掲載内容の充実など一層の拡充を行う。


問題に対し、どのように市民の理解と協力を得るべく努力するのか具体的に。また関係市との協議に臨む市の基本方針は何か。

限られた財政フレームの中、調布の未来を担う子どもたちのために、どのような方針で施設整備基準や、学級編成基準を設け、かつそれらの事業の優先順位を明らかにしていくのか。子どもと地域の目線を生かした実態に合った取り組みをしていくことが課題と考えるが、市長の考えは。市民が多くの期待を寄せている福祉分野の重点施策は何か。国分寺産線など調布の特徴である自然環境を守るため、例えば地球保全基金などを生かし、トラスト制度も検討し、調布

の緑は市民一人ひとりが守り育てていくという意識醸成を図りつつ、緑の保全に努めていく事が優先課題。市長の環境政策の重点課題は何か。

【市長答弁】国領駅北地区再開発は、都市計画マスタープランを基本に、重点計画事業の一つとして推進。新ごみ処理施設建設では、既に三鷹市と覚書を交わしており、新ごみ処理施設整備検討委員会を設置し検討中。その意見を尊重。家庭ごみ有料化も含め、広範な市民意見に沿って取組む。関係市と協議・協調し解決する。子ども施策は、その目線を大切に、「調布版エンゼルプラン」の策定に向けて始動。施設改修は計画的に取組む。三十人学級を視野

みとこの一言



質問したことにより、第一回目の「ふれあいトーク」は、事前申し込み制が自由参加、会場も2回目から各地域センターに変更になった。それぞれの具体的な質問には明確な回答がなく、長友市長が描く「調布のまち」が見えず残念だった。それにしても、迅速な情報公開を基本とするのなら、住基ネットに対しても市長の見解を、もっと市民にわかるよう伝えて欲しかった。

に入れた学級編成基準の改善は、特に低学年を検討。福祉制度はすべての方を対象に、生活の安定を図る施策と考え、引き続き努力。自然環境保全については、崖線緑地を保全するためのシステムづくり等、早急に取り組む、トラストや基金の活用方は、具体的に検討。

大河みとこの

自治最前線を訪ねて



全国男女共同参画宣言都市サミット in 宝塚に参加！

7月11・12日に自主研メンバーと共に参加。友人の杉本市議の案内で、各議員にパソコンが供与されている議員控え室も見学。情報化時代に具体的に対応している議会を見て羨ましい限りです。サミットでは、わがまちの“男女共同参画”を熱く語る市長にも出会えた。男女共同参画が新しい市政運営の基本に掲げられている調布市、この問題に正面から取り組む日が近い事を期待したい。



1人1台があー、いいなあ。



桜中学・ガラス張りの職員室で。

福島県三春町の学校改革に触れて

8月22日から開催された自治体学会郡山大会の中で企画された研修で、三春町での町長講話や施設見学にも参加した。教育目標に「自立」を掲げる三春町立桜中学校では、教科教室型と呼ばれる学校運営方式で、教える学習から生徒が自ら学ぶ学習活動へを目ざしている。個別のクラスルームを持たず、学級の憩いの場である「ホームベース」にロッカーがあり、教科により移動する。校則はなく、学校運営が生徒主体で、生徒会が機能し自治を行っているという。自立のために自由と責任、常識とルール、思いやりと学びあいを大事にし、子どもと教師の夢が育つ学校を基本に置いている。学校は休みだったが、掲示板からは生き生きと学ぶ楽しさを感じ取れた。国・都の定まらない改革方針に振り回されず、わがまちの子どもたちの未来を見据えた学校改革が必要であること、それができてこそ自治の時代なのだを再認識した。

教育について語ろう

「いろいろ話そうよ」の会（3回目）のご案内

日時 11月24日（日）午後1時半～4時

場所 市民センター4階第二集会室

新しい市政は子ども政策を最重点課題とし、教育環境の改善や学級編成基準の見直しを示しています。限られた財政の中で、私たちが今、何を大事に考えていけばよいかを自由に話し合しましょう。調布の中学校における昼食の提供方式を、中学校長・栄養士・調理員・養護教諭・市関係職員等を協議会委員に任命し検討開始している現状（保護者代表が含まれていない）や、少人数授業研究交流会（犬山市）に参加した報告も致します。お気軽にご参加ください。



熊本県でユニバーサルデザインを学ぶ！

日本福祉のまちづくり学会の全国大会が8月8日熊本市であった。潮谷熊本県知事は、全ての人々が安心して暮らすことのできるまちづくりの為に「ユニバーサルデザイン」を県政運営の基本理念に掲げている。知事の特別講演に加え、ユニバーサルデザインの先進事例である熊本市内の屋外ワークショップに参加した。市内を歩きながら低床電車、バス、すべての人に勉学の機会を提供している学校施設など実際に見ると、これからの高齢化社会に即して調布駅周辺のまちづくりをどう進めていくかヒントを得た気がする。当事者の市民が動き提案すればまちは大きく変わる。誰にも優しいまちづくりの良い事例を学んだ。



熊本市内を走る低床電車。

教育について語ろう第6弾「教育・学校に関わる組織についてもう一度考えてみよう」

学校・家庭・地域のより良い連携のために シリーズ4回目



PTAって何だろう Part 4 - 今こそ本来の役割を自覚して動き出すとき -

全国的ネットワークのボランティア団体 PTAを活かして、私たちを生かす

単位PTA（各学校） 郡・市PTA連合会 都道府県PTA協議会 社団法人日本PTA全国協議会

地域や学校での児童・生徒の健全な成長と幸福のために、保護者と教師が対等の立場で協力し諸活動を行うボランティア団体、それがPTAです。学校の附属団体でも後援会でもなく、学校と互いに干渉し合わない自主的団体ですが、「干渉」と「意見を述べ合い、より良い方法を見つけること」は違います。全国的組織であるPTAが本来あるべき姿になって、多くの教師と保護者がオープンに率直な意見を交わし合い、全国的な議論が深まれば、省庁の決定、国の政策にも影響力を持つはず。ちなみに、平成14年度のPTA全国協議会の活動目標は10項目に及び、その中の「世論形成」では「青少年育成団体・社会教育団体として、進んで世論形成の先導的役割を果たしていく」と、「要請活動」では「教育諸条件の改善・整備を図るために...（中略）...文部科学省・関係する公共機関、並びに民間団体等に対して働きかけていく」とあります。

最近の教育に関するいろいろな変化において、計画段階から実施に至るまでに現場の教師と保護者の意見や希望が何らかの形で反映された実感はあるでしょうか。子ども、教育について日常に起きている事柄を議論し合う場がありますか。PTAこそ、そのための組織のはず。形式的な会議や行事のみに忙殺されない運営、教師も保護者も“今問題・課題であること”をそうと認め議論できるような環境、単位PTAからの声がネットワークを介して確固とした世論に成長できるシステム、それを可能にする適任の役員選出と個々の会員の積極性・自主性、戦後半世紀以上を過ぎたこの国と、そこに住む私たちに対し“民主主義を貫く力量”が試されています。

PTAについてはいったん今回で終了し、次回は“学校に関わる組織の図式化”を試みる予定です。
(参考資料：社団法人日本PTA全国協議会ホームページ <http://www.nippon-pta.or.jp/>)

ユーフォー情報 その3 “新ユーフォー”出現？



調布市が「児童の放課後遊び場対策事業」として行っているユーフォー事業（H12年9月開始）に加えて、“新ユーフォー”の開設が予定されています（H15年4月、第一小学校からスタート）

新ユーフォーとは **現在のユーフォーの時間帯 + 土曜日&春・夏・冬休み期間のフルタイム開設** です。

開設の過程と開設後の運営には、より多くの地域の声、何よりも対象者である子どもの視線が反映されなければなりません。また、両ユーフォー事業について、新市長が選挙時に「1小学校区 - 1学童クラブ」として公約していた学童保育との整合性など、市民一人ひとりが常に問題意識を持って考えるべき事業です。

元気派学習会「中学生のためのCAP(キャップ)・おとな学習会」のご報告



8 / 25 調布市文化会館たづくりにて
あらゆる暴力から自分自身を守るための人権教育プログラムであるCAP。この中学生向けワークショップの特徴については、本35号でもご紹介しましたが、今回の学習会では、“気づき”を促すグループ・ワークの有効性をあらためて実感しました。ある問題について個人的な意見を述べるのではなく、模擬的にいろいろな立場に立って様々な可能性を探り合うことで、今まで気づけなかった局面、価値観、考え方に自分を導くことができるのです。

「2日目には子どもたちも非常に打ち解けて、親や先生にできなかったような質問をします。“人権”は頭で考えるのではなく“心に落とす”こと。」CAP青い空の方からの言葉に、ていねいに子どもと向き合うことの大切さを再認識しました。調布市の小・中学校でCAPプログラムが早く実践・有効活用されるよう期待します。

友人が関係するリリィ&洋士さんのライブコンサートの仕込みを覗くチャンスがありました。私は泣いています。うれいすね。(みとこ) 2階「さくらんぼ」(0424-88-0626) 調布でジャズライブが聴けるお店です。うれいすね。(みとこ) 元気がありました。久し振りに大人の歌を聴きました。柴崎駅前大ビ

みとこの議会レポート

国領再開発事業への様々な歳出が、市民に誠実な説明もなく執行されたことや、事業の二次評価に根拠となる内訳が不明確な評価も含んだ十三年度決算の認定に対し三会派が反対

平成十四年度市議会

第三回定例会

九月十日～二十七日（十八日間）

平成十三年度一般会計決算認定

起立多数で可決

元気派市民の会・反対

元気派の討論



市民参加型市政運営を基本に、迅速な情報公開や効率的な市政運営、その基本に「評価」を置いた新市長が議会に提出した決算を上記の公約に当てはめながら審議しましたが、次の理由から決算に反対しました。

国領駅南口再開発ビル内の駐車場取得など市民への説明責任を欠いた歳出に異議あり！

国領駅南地区再開発事業へは多額



の補助をしてきました。ビル内の駐車場取得も、再開発組合に対する補てん的な要素が強く、市財政が厳しい中で多額の税金投入であった事からも、市民に対し、より納得のいく情報公開と説明責任が必要でした。その責任を果たさず執行したことは、市民の行政不信にも繋り、その責任は重いと考え反対しました。また、効率的な市政運営に事業の評価が重要との位置づけでした。しかし、評価の根拠が不明確だったものや、一次評価が担当にフィードバックされずに現場との意思疎通に問題もありました。市民と行政との、行政内情報共有のための改善を求めました。また緊急質問で問題になった事務事業評価調査集は、議会には新聞報道された後、議会開会前日に配布され、結果的には開会時間が遅れ混乱を招いた点を指摘し、決算資料の適時性という観点から来年度は改善するように要望しました。

平成十四年度一般会計補正予算（第一号）

満場一致で可決

元気派市民の会・賛成



【元気派の意見】深大寺テニスコートは借地であり二十年間無償で提供されていた。相続の関係で市から購入提案があつたが、ゲートボール場も併設され、年間二万人に利用されている施設である点なども考慮し賛成しました。

調布市立深大寺保育園新築請負契約

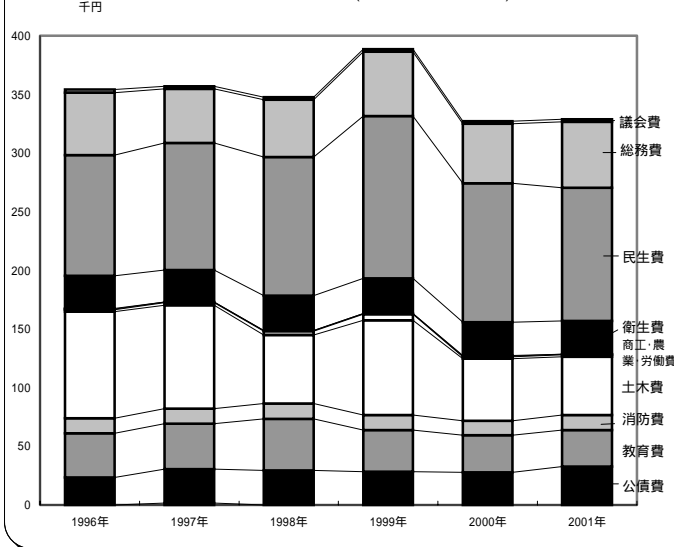
満場一致で可決

元気派市民の会・賛成



【元気派の意見】老朽化した深大寺保育園の建て替えのための契約で、市内業者が二億四千七百八十万円で落札した。鉄筋コンクリート造り二階建て、延べ面積約四百四十坪で、来年の8月に完成予定。運営方法が、民間委託へ移行するのではな

調布市決算額の推移（市民一人当たり）



平成13年度の調布市決算

景気低迷のなか、外資系大手企業の業績好調により増収したが、1社の伸びに一喜一憂せざるを得ない現状は改善が必要。市税の徴収率は本年も多摩26市トップで評価するが、少子高齢化社会に対応すべく民生費も伸びている。経常経費（人件費、扶助費、公債費等）の伸びも大きく、削減への努力を要する。わかりやすい財政情報を市民に示し、事業を選択する時代である。

から出されていたが、今議会で市長は社会福祉法人への民間委託を示唆。財政状況が厳しく、待機児が多い現状で、園舎の規模を大きくし、定員増を図り運営するには、民間委託もやむを得ない措置ではあるが、保育の質が低下しないよう強く要望しています。

住民基本台帳ネットワークシステムの稼働見直し・中止を求める意見書

賛成少数で否決

元気派市民の会・賛成



住民基本台帳ネットワークシステム（以下住基ネットと略）は、国民総背番号制に対する国民合意もないうままに稼働を開始。市民は、行政にある自らの情報をコントロールする権利を有していません。個人情報保護法も欠陥が多くあつた個人情報保護法案も欠陥が多く成立せず、セキュリティの課題も残されている状況です。一度盗まれた情報は回収できないことから、住基ネットへの参加は慎重であるべきでした。しかし接続した今、政府に直ちに稼働を見直し、中止を求めていく事は、

個人情報保護の漏えいに不安を持つ市民の声にこたえることと考え、意見書に賛成しました。

【緊急質問とは】通常議会では、行政全般について、説明を求めたり、所信を正す一般質問があります。それに対し緊急質問は、質問が緊急を要したり、その他やむを得ないと認められ、議会が質問を行うことに同意したときに限られています。本九月議会では緊急質問が議会初日（公明党会派）と最終日（自民党会派）にありました。

九月十日 調布市事務事業評価の新聞報道について

「市保養所廃止か」という見出しで行政がプレス発表した行政評価の記事が、市民に対し、すでに決定したかのような誤解を与えたことは、迅速な情報公開を打ち出している市長としてどう考えているのかという趣旨の質問。

九月二十七日人事異動の内示について

100名を超える大幅な人事異動の内示について、決定過程が通常ではないと庁内での人事への不信の声を受けた問

題提起と、公約である女性職員の要職への登用が皆無だった点、大幅な新規管理職登用は行革に反する等、市民サービスに支障をきたす人事は問題ではないかという趣旨の質問。

文教委員会報告

平成十三年度一般会計決算の認定

元気派市民の会・賛成

賛成多数で可決



文教委員会は教育費、生活文化費など暮らしの基本的な分野を審議しますが、当初予算で提案されたことが概ね実行されたと判断し賛成しました。男女共同参画社会づくりが市の政策の中心になってきたことから、この視点が全ての政策に反映されるような進管理管理体制を要望。また男女共同参画センター新設検討が明らかになってきましたが、その概要や計画当初からの市民参加、情報提供などが委員会審議で不十分であり、早急な情報公開を求めました。審議のなかで文化会館「たづくり」の二次

評価の正当性・客観性について問題提起し、評価が客観的に見ても妥当だと判断されるよう今後の改善を要望しました。また教育環境への早急な取り組みの前提として、今後分かりやすい教育施設の整備基準や学級編成基準などを示す事や、市全体の事業を見直すなかで学校教育関連の財源確保への努力を要望しました。

傍聴記

新人市長の初市議会ということで、早くから多勢の方が待っていましたが、いつものことで議員の質問が始まってからでない傍聴席に入れません。また、傍聴者が入る度に事務局から議場内の係へ、そして議長へと傍聴者名を書いた紙が届き、傍聴者が誰かをチェックするように議長がじろりと見ます。入る度の届けに何の意味があるのかな？新市長は議員の質問の間、自分の読む番を待っている一年生のような様子でした。代表質問ということで前もって出されている質問に対し、用意された答弁を読むだけなので聞きっぱなしです。急に新しい質問があったら、答弁はどうなるのかな。公約であった女性助役の姿もなく、相変わらず緊張感なく居眠りしている議員もいて、どうなるのかなあ。調布は……。

深大寺北町在住 雨宮広子

防災訓練には防災服を着て参加しますが、消防署職員に間違えられて、救急の際の包帯の巻き方を聞かれて四苦八苦しました。自治会の防災訓練で習ったばかりだったので、すぐにはうまくできない。何事も日頃が大事（みとこ）

香川県高松市を訪ねました

セミナーで講師を務める 香川県高松市で『女性を議会に！エンパワーメントセミナー 2002』の連続講座で「財政に強くなるよう」というテーマの講師を務めた。「財政は、行政を議員が評価、チェックし、改善を求めるための必需品だ」という持論を体験から話し、日頃「財政は議会制民主主義にも欠かせない道具」と認識している事も伝えた。参加者からは「財政を学ぶ意味がよくわかった」という感想が聞けてうれしかった。



財政は市民自治に欠かせない道具。

元気派ひろば

次の議会は十一月四日頃からの予定です。大河みとこは一般質問を行います。是非傍聴に行きましょう。詳しくは議会事務局にお問い合わせください。(TEL 0424-81-7291)

豊島の産廃不法投棄の現場を視察 今回、「豊島(てしま)は私たちの問題ネットワーク」のメンバーの案内で豊島も訪れた。長年、県外からの有害産業廃棄物の不法投棄に苦しみながらも、住民が諦めず地域を守る運動を継続し、公害調停を成立させた歴史がある。行政判断の誤りが原因で住民を法の犠牲にし、多大な代償を払った事例。豊島事件は、住民のためにある行政や議会に「原点を忘れるな」と警鐘を鳴らしているように思われた。

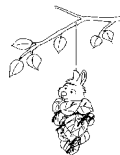


豊島・汚水は止めどなく... 廃棄の傷跡はあまりに深い。

深大寺北町界隈から 「小さなモミジ」の独りごと

私は「花ひろば」の小さなモミジ。向かいの空地にあった大きなモミジは、深大寺保育園建設のため、桜や栗と一緒に切られてしまいました。もうあの美しい赤い色は見られませんが、来年の今頃は、園児たちの黄色い声が聞こえていることでしょう。移植されて残った柿の木と八重桜、大きなモミジの分もがんばって根づいて大きくなってね。

「花ひろば」は市有地(深大寺北町5-9)にボランティアが花を育てている広場です。



元気派ミーティング (議会報告会)

11月18日(月)
19:00 ~ 20:30

深大寺地域福祉センター
第2集会室



伝言コーナー

みみチャンネルをお近くの方に配っていただける方を募集しています。事務所までご連絡下さい。

TEL0424-88-4137
Eメール
genkiha@ops.dti.ne.jp

元気派市民とみとこの会の事務所は毎週月・火・木・金の10時から16時まで開いています。お見えになる方は予めお電話ください。

編集後記

「合唱祭の練習がもつとしたい」と、わが子。学校五日制はゆとりなどもたらしめている。(ちえみ)
「引越したい！」と常々思っているのだが、調布市に住み続けるべきか?どこが良いか? (ちはる)
暮らしやすいまち、住み続けたい。 (まさこ)
三春町長を囲んで自治体学会の仲間と自治を語った夏、自治は地域からと実感する。(みとこ)
みみチャンネルは出来るまでとても苦労していることを知る。最後まで読んでね。(ともこ)
市長交代は、良くも悪くも市政を見直すよい機会。(みゆ)

元気派市民とみとこの会 会員大募集!

当会は市民による調布のまちづくりを目指して活動しています。みなさんも当会に入会して、これからずっと住み続けたいまち・調布にしていきましょう。



会費(年)一口1,000円 何口でも結構です!
会費及びカンパは郵便振替にても受け付けております。
口座番号 00180-5-577951
加入者名「元気派市民とみとこの会」

「みみチャンネル」購読のみ希望の方も事務所までご連絡ください。

次の活動を行います

- 1 懇談会、講演会の開催
- 2 会報、パンフレットの発行
- 3 その他

高松市で話題の讃岐うどんを食べる。なんとも美味しく、うれしくなりました。東京にも進出したお店も多いため、近くに一軒は欲しいうどん屋さん。(みとこ)